



きくまつり ~菊の園創立83年目の誕生を祝う~

きくまつりのフィナーレでは、美しい秋空に色とりどりの風船が吸い込まれていき、創立83年を祝うきくまつりが幕を下ろしました。

第1部の「開校を祝う会」では、運営委員会、畑委員会、菊委員会が用意したスライドや映像、クイズを通して学校の歴史について学びました。また、情報委員会が作成した大衆音頭を見ながら、みんなで踊りました。

第2部では、自分たちで育てた野菜を、生活団で調理しました。きくまつりは、「体験」と「人とのつながり」を大切にする菊の園の信念が、そのまま表れている行事です。そして、何より準備から片付けまで全てをリードしていたのが6年生です。6年生は、自今の委員会活動の仕事と、生活団の仕事を並行して行います。6年生にとっては、これまでの集大成といっても過言ではありません。1年生は、そんなたくましい6年生の姿を常に目の当たりにするわけですから、“憧れ”を抱くのは必然なのかもしれません。今後、6年生のバトンは5年生に受け継がれ、5年生が学校を引っ張っていきます。

